H.U.グループの紹介

大和IR　個人投資家向け会社説明会

H.U.グループホールディングス株式会社
(TSE: 4544)

執行役常務 兼 CFO
北村 直樹

2025年11月23日

上場証券取引所	東証　プライム
証券コード	4544

1. 当社グループの概要

2. 事業セグメントのご紹介

3. Topics

① アルツハイマー病関連検査
② がんゲノム医療への貢献
③ 業績見通し、株主還元、外部評価

4. 本日のまとめ

1. 当社グループの概要

2. 事業セグメントのご紹介

3. Topics

① アルツハイマー病関連検査
② がんゲノム医療への貢献
③ 業績見通し、株主還元、外部評価

4. 本日のまとめ

会社概要

会社名	H.U.グループホールディングス株式会社
設立	1950年12月
本社	東京都港区赤坂 1-8-1
資本金	92億7千9百万円 （2025年3月末）
従業員数	連結:5,444名 （2025年3月末）
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場【証券コード:4544】

数式の思考
高波　慶太
Keita takanami

はじめに

本日覚えていただきたい点

- 会社の名前
- グループの強み
- 皆さんの健康に大きく貢献していること
  （例：アルツハイマー病、がんなど）

H.U.グループとは

H.U. = Healthcare for You (U)

人々のヘルスケア（健康）になくてはならない存在

事業

臨床検査を中心に
人々の**医療・健康**を
支える事業

強み

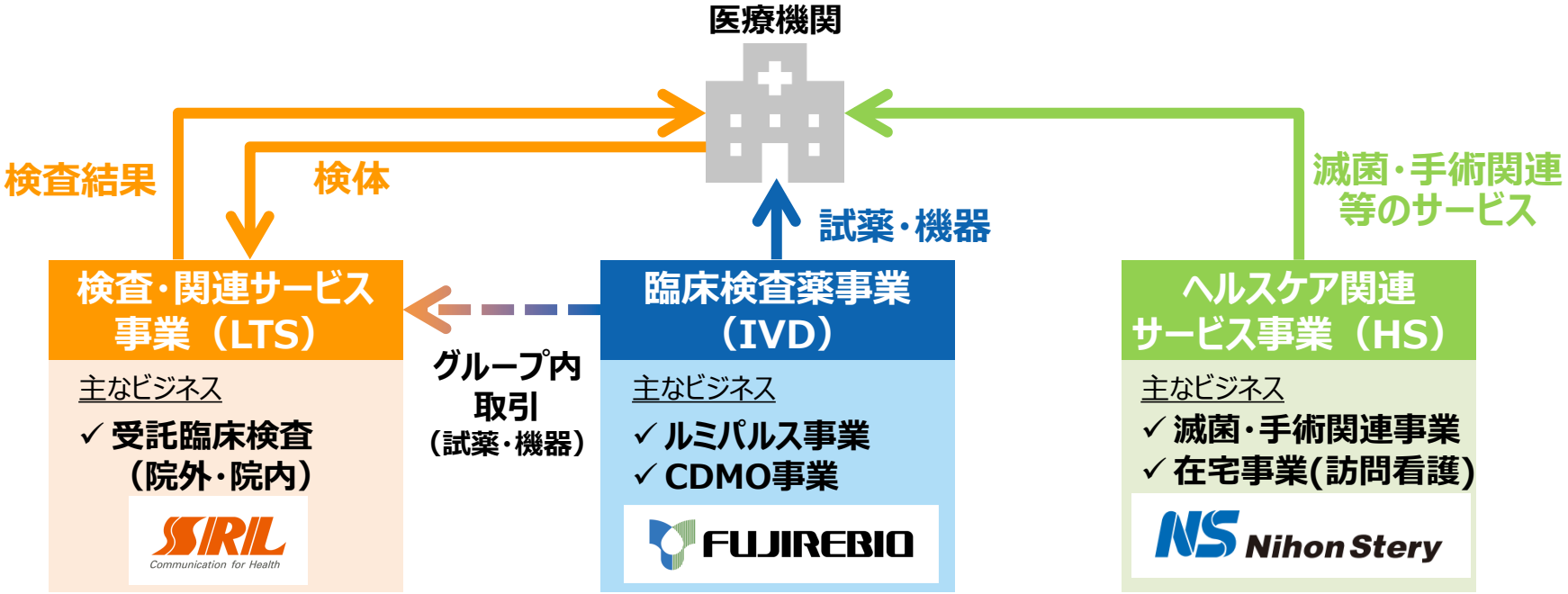
高い精度・技術を
背景とした
業界トップの
ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞｶﾝﾊﾟﾆｰ

成長・還元

- **5年後の営業利益率11%以上**を目指す
- **累進配当（今期125円）**
- **5年で200億円以上の自社株買い**を予定

各セグメントの主な事業

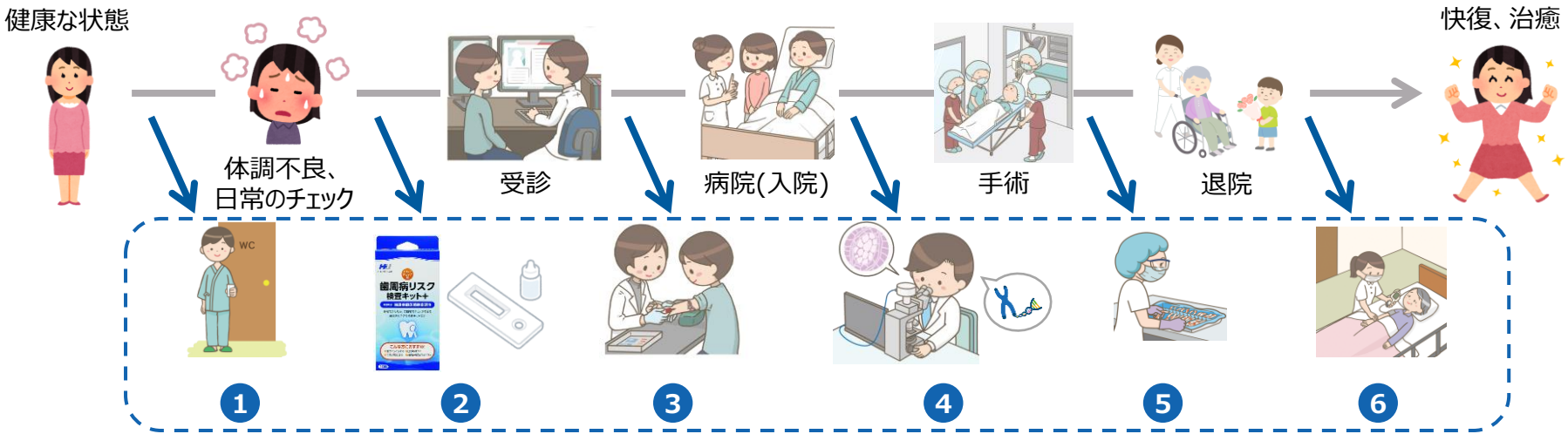
病院等の医療機関に製品・サービスを届けることで、人々の健康、ヘルスケアに貢献



2024年度売上高比率	LTS	IVD	HS
	63%	25%	12%

LTS: Lab Testing and its related Services　IVD: In Vitro Diagnostics　HS: Healthcare-related Services

医療の一連の流れ（一例）における当社の貢献



① 健康診断時の血液・尿等の基礎的な検査
② 自宅での簡易検査キット
③ クリニックでの血液検査等
④ 病院（入院）での特殊な検査（遺伝子、病理検査など）
⑤ 手術用器具の滅菌、手術関連のサポート
⑥ 訪問看護（在宅での対応）

臨床検査を軸に
広くヘルスケアに
貢献する企業

Mission/Vision

Mission

ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、
人々の健康と医療の未来に貢献する

Vision

グループが共有する経営資源を最大限活用し
共創・挑戦・イノベーションを通じて
世界の社会課題を解決する

沿革

1950 富士レビオ 創業

1966 診断薬の製造・販売を開始 世界初の梅毒検査薬

1987 東証1部上場

カーブアウト

1970 エスアールエル 創業 大病院中心に特殊検査を受託

2001 東証1部上場

2005 2社が経営統合し、ホールディングスを設立※

2020 H.U.GROUP
- グループ創業70周年
- H.U.グループホールディングスへ社名変更
- 医療領域からヘルスケア領域へ

前中期経営計画「H.U.2025」

2025～ 現中期経営計画「H.U.2030」（2025年5月公表）

※当時はみらかホールディングス

1. 当社グループの概要

2. 事業セグメントのご紹介

3. Topics

① アルツハイマー病関連検査
② がんゲノム医療への貢献
③ 業績見通し、株主還元、外部評価

4. 本日のまとめ

検査・関連サービス事業
（LTS）

主要事業会社

SRL
Communication for Health

検査・関連サービス事業

院外検査

■全国の医療機関から検体を回収、当社ラボで検査後、結果を報告

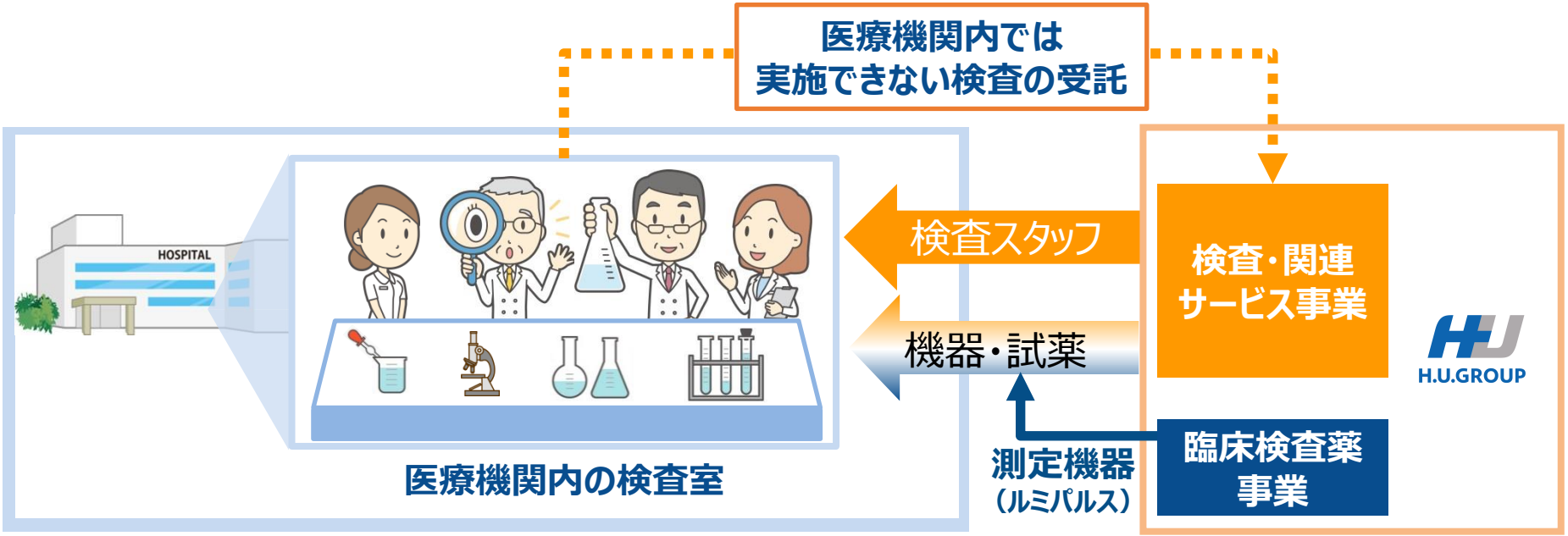
■検査・関連サービス事業売上の約8割を占める

院内検査

■医療機関内の検査室業務を受託

✓ 顧客メリット：初期投資の軽減、当社の検査室運営ノウハウ活用による効率化

✓ 当社メリット：病院検査室内で実施できない検査の受託



強み（シェア、事業規模）

国内トップシェア

市場規模は緩やかに拡大

(+) 高齢者人口増による検体数の増加
(−) 2年に1回の診療報酬改定による価格下落

強み（顧客・検査項目）

- 大病院**80%**以上との取引実績※3
- 染色体検査における市場シェア**70%**以上※4

事業規模

- 年間検査実施数は**4億**テスト以上
- 日本全国を網羅する**100**以上の拠点

※１　国内市場規模：株式会社矢野経済研究所「2025年版臨床検査センター経営総鑑」における2024年度受託臨床検査市場データ参照
※２　当社市場シェア：自社調べ（2025年3月期実績をもとに算出）　※3　500床以上の病院　※4　自社調べ

新セントラルラボ「H.U. Bioness Complex」（東京都あきる野市）

25年4月より完全稼働

25年6月末
旧システムシャットダウン

処理能力、効率化

- ✓ 全自動、24時間稼働により
  29年度：**25万ID/日**
  （24年度比**2倍**を目指す）
- ✓ AIやロボティクスを活用した業務効率化

研究開発

- ✓ 次世代の事業シーズを生み出す研究開発拠点

BCP対策

- ✓ 免振・耐震構造
- ✓ 非常用発電機、受水槽（3日間の事業継続可能）

「検査を止めない」という社会的使命を全うできる体制を整備
効率化を進め、2029年度営業利益率**10%以上**を目指す

臨床検査薬事業
（IVD）

主要事業会社

FUJIREBIO

臨床検査薬事業

ルミパルス事業

FUJIREBIO

- 検査機器を販売・設置
- 顧客ニーズに対応

L2400
240テスト/時

G1200
120テスト/時

G600II
60テスト/時

＋

- 継続的に収益性の高い専用試薬を供給
(7～8年程度)
- 利益の源泉

→

安定した高収益を実現

ルミパルスで測定可能な項目の一例

FUJIREBIO

【主ながんマーカー項目】

- 食道がん
- 肺がん
- 胃・膵・腎臓がん
- 乳がん
- 肝細胞がん
- 卵巣がん
- 結腸・直腸がん
- 子宮がん
- 胆嚢・胆道がん
- 前立腺がん

【主な感染症項目】

- ウイルス性肝炎（B型肝炎、C型肝炎）
- 梅毒
- HIV
- 新型コロナウイルス

【その他の項目】

- アルツハイマー関連
- 甲状腺
- 心筋梗塞
- 性ホルモン
- 血中薬物濃度
- 内分泌（糖尿病、高血圧）

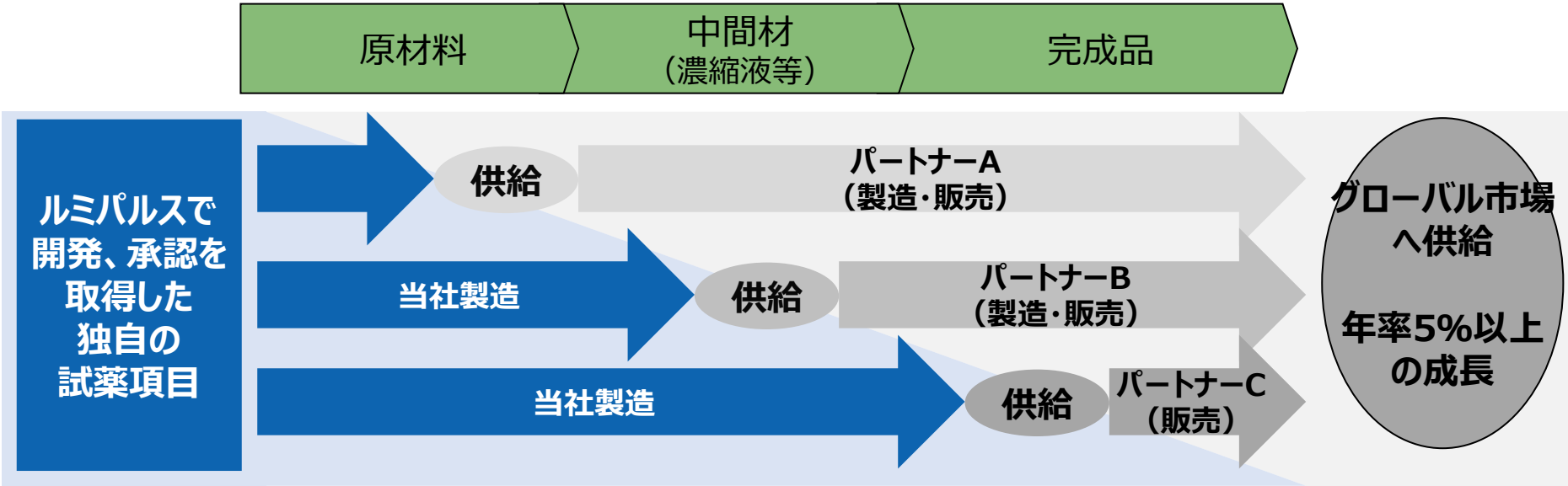
臨床検査薬事業

CDMO※事業

自社プラットフォーム「ルミパルス」で開発・承認を取得した当社独自の試薬項目を様々な形でパートナーへ供給する

①当社はセールス/マーケティングコストが不要 ⇒ **高い利益率**

②パートナーがグローバルでエンドユーザーへ販売 ⇒ **グローバル市場での成長**



※ 受託開発製造（Contract Development and Manufacturing Organization）

臨床検査薬事業
成長戦略

FUJIREBIO

継続的なR&Dの強化
（研究開発費：臨床検査薬事業の売上高の12%）

ONLY ONE、No.1 項目の開発・製品化

ルミパルス 試薬項目数

- **100**項目以上
- アルツハイマー関連をはじめ、他社にはない独自の項目で多数の承認を取得

ルミパルスでの価値の実証

ルミパルス 設置台数

- 国内で約**2,000**台
  （国内シェア第**2**位※1）
- 海外は欧米を中心に展開

CDMOビジネスでグローバル規模の拡大

パートナーからの受託項目数

- **116**項目※2
  - ✓ 製造フェーズ：68項目
  - ✓ 開発中：48項目

⇒目標:年平均**5**項目程度増加

安定的に営業利益率 **20%以上** を維持。2029年度 **25%以上** を目指す

※1 令和6年度第58回臨床検査精度管理調査結果報告書（日本医師会）をもとに当社推計　※2 2025年3月末

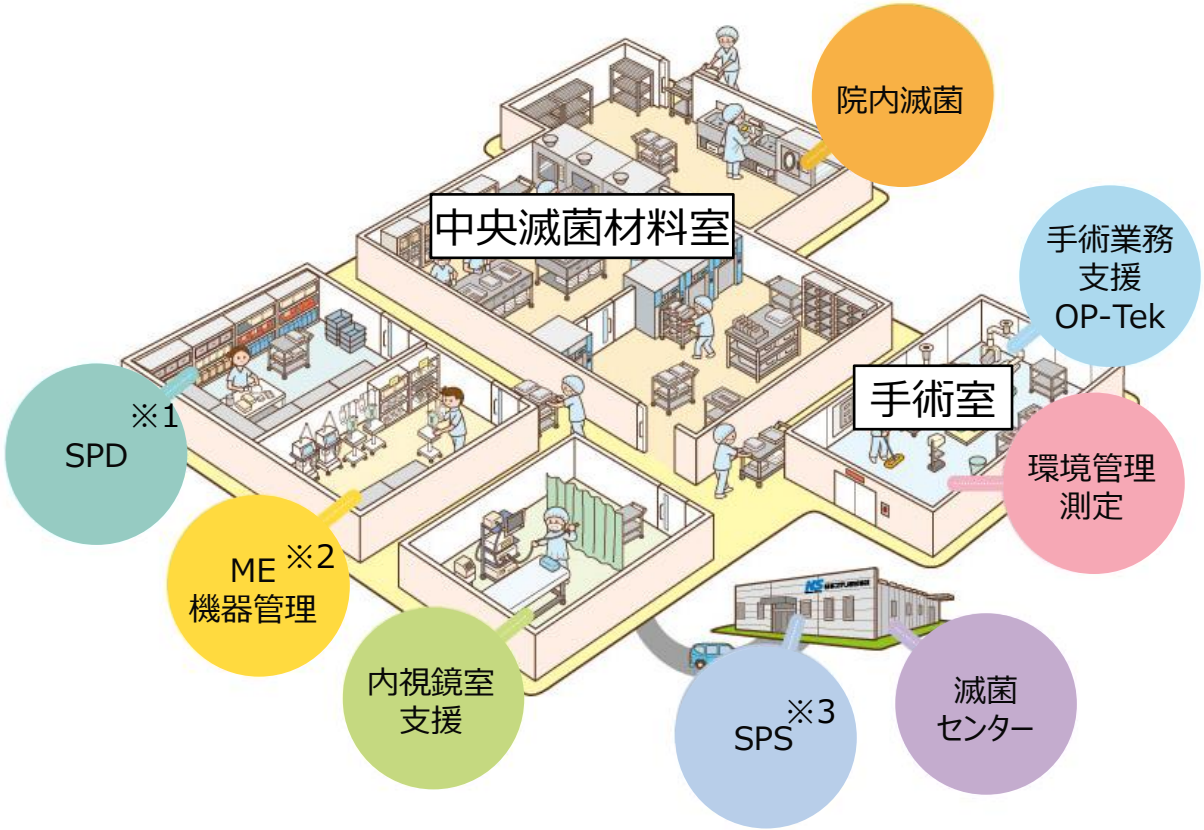
ヘルスケア関連サービス事業
（HS）

主要事業会社

Nihon Stery

ヘルスケア関連サービス事業

滅菌・手術関連事業の主な提供サービス



※1 SPD: 院内物流管理システム　※2 ME: 医療機器　※3 SPS: サニタリー・パッケージング・システム

滅菌・手術関連事業の成長戦略

Nihon Stery

- 手術関連サービス強化を通して手術室周辺の高難易度業務へフォーカス
- 差別化が困難な病棟外来器械滅菌は、自社滅菌センターでの院外化にシフト

タスクシフト/シェア

院内役務

人手不足
人件費
高騰

手術室周辺

- 手術室支援
- 内視鏡室支援
- ME※機器管理

高難易度業務にフォーカス → 高付加価値・差別化

現場DX/標準化

中央滅菌材料室

- 手術器械滅菌
- 病棟外来器械滅菌

院外化 → 自社滅菌センター

営業利益率（2029年度）**8%以上**を目指す

※医用工学（Medical engineering）

1. 当社グループの概要

2. 事業セグメントのご紹介

3. Topics

① アルツハイマー病関連検査
② がんゲノム医療への貢献
③ 業績見通し、株主還元、外部評価

4. 本日のまとめ

アルツハイマー病関連検査

これまで

治療：進行の抑制

当社の検査での貢献

- 脳脊髄液用の検査試薬を提供
  ⇒検体採取の
  身体的負担大

その他の検査

- PET検査
  ⇒装置数が限定的
  ⇒拘束時間が長い

今後

治療：原因物質の除去

当社の検査での貢献

- **米国FDA※1より、血液を用いたアルツハイマー病の検査試薬※2として、初めて承認を取得した試薬**

更なる研究開発およびエーザイ等の製薬企業とのコラボレーションを通じて
“**血液**”検査の浸透・拡大を目指す

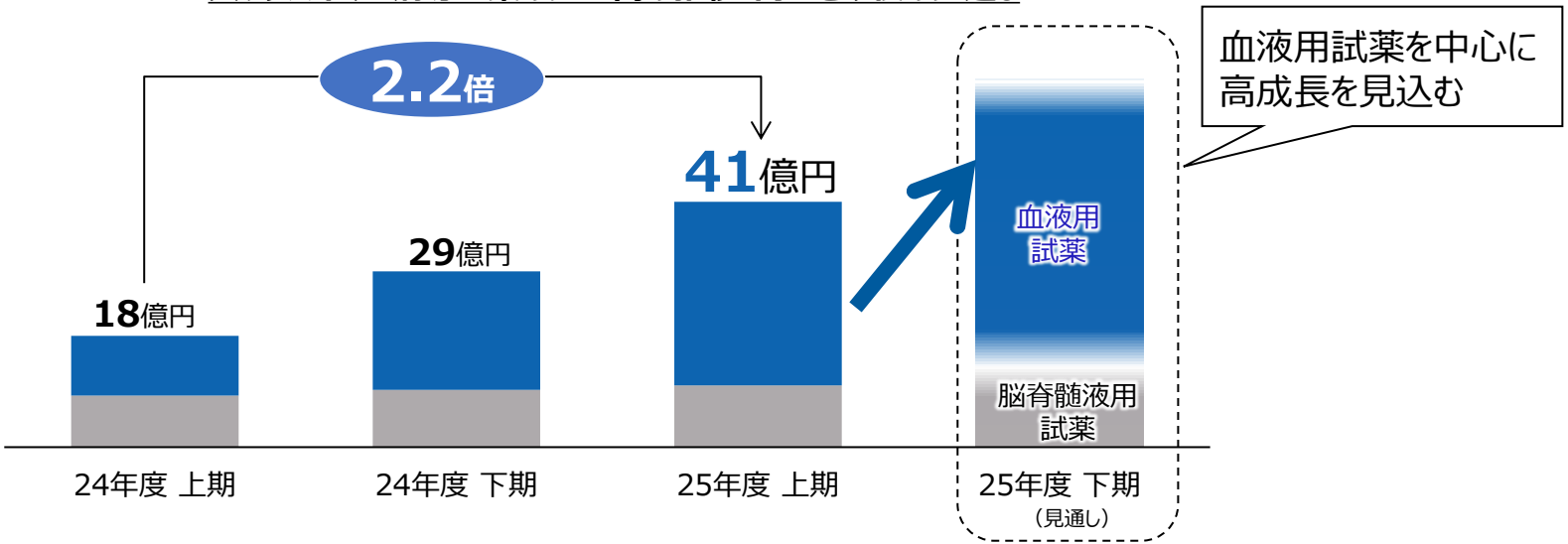
※1　米国食品医薬品局　　※2 血漿中の217位リン酸化タウ蛋白（pTau217）とβ-アミロイド1-42の比率を測定する検査試薬

アルツハイマー病関連検査（直近の状況）

血液用試薬の伸長が継続、アルツハイマー病等※試薬の売上高は引き続き堅調に推移

- ✓ 血液用試薬が成長をけん引、脳脊髄液用試薬を中心とした研究用試薬も堅調に伸長
  （米国2大検査センターでの採用も背景に使用量が拡大）
- ✓ さらなる浸透を目指し、日本・欧州での年内申請を準備中。インド・中国以外にも南米・中東・アジアへの市場展開を準備中
- ✓ グループ会社のSRLで血液用試薬を用いた検査の受託を8/25より開始（研究用途）

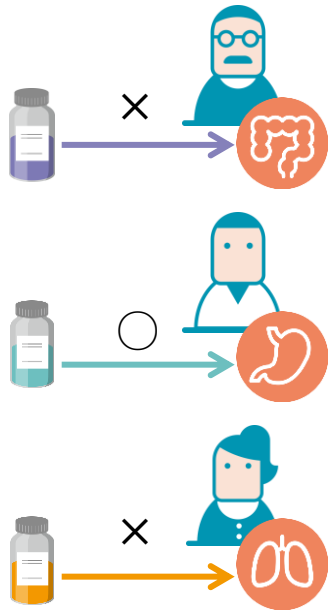
アルツハイマー病等試薬の売上高の推移・内訳と今後の見通し



※ アルツハイマー病を含む神経系疾患関連検査試薬

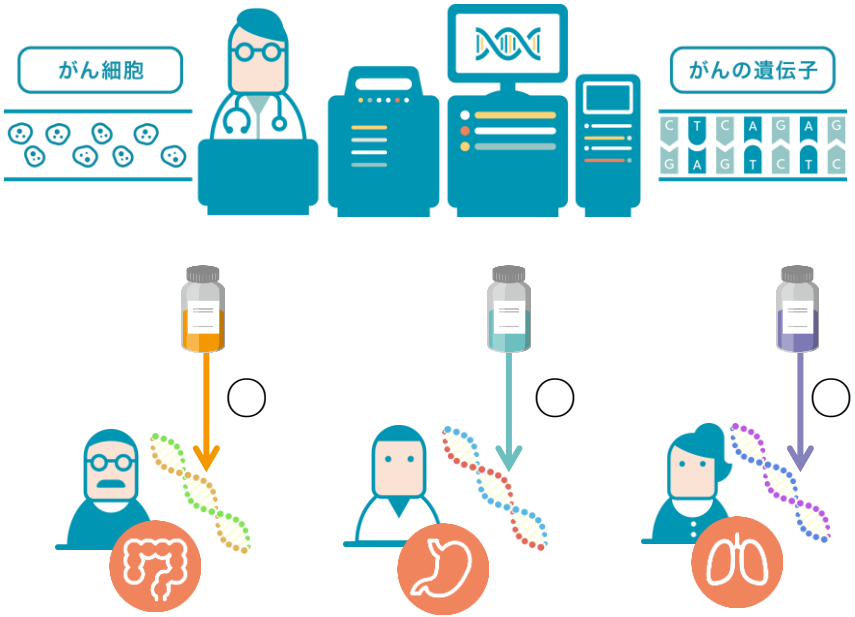
がんゲノム医療への貢献（がん遺伝子パネル検査）

<u>がんの種類に合わせた治療</u>



<u>次世代シーケンサーを使用した検査・治療</u>

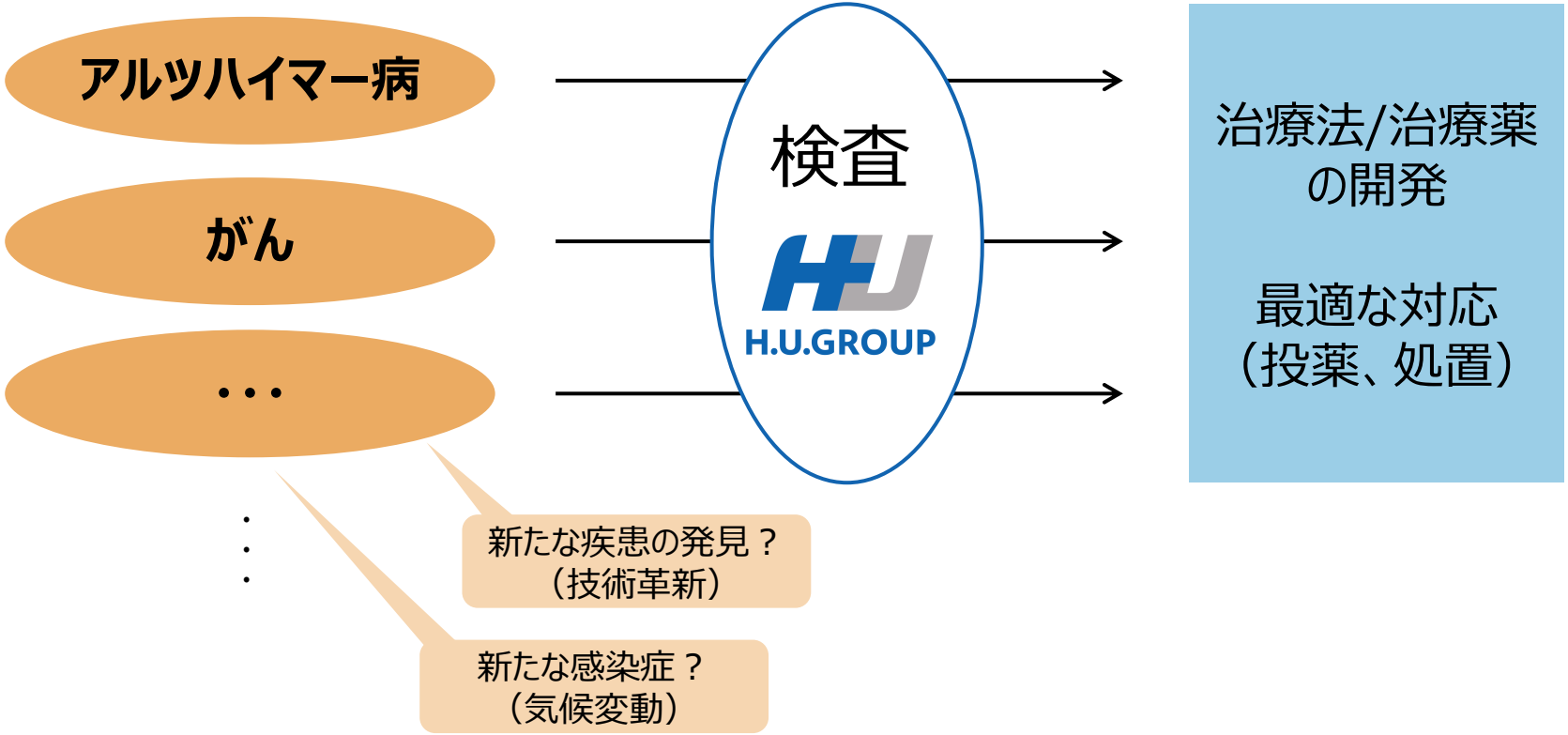
- ✓ 患者毎に得られたがん細胞から多くの遺伝子を検査
- ✓ 患者毎の遺伝子に合わせた治療薬を選択



→がん遺伝子パネル関連検査が売上高成長を牽引

当社の貢献

“病気”と“適切な治療法”をつなぐ役割を**検査(H.U.グループ)**が果たしている



2024年度実績と2025年度通期連結業績予想

子会社株式譲渡・資産売却等を背景に業績予想を上方修正（2025年9月25日）

（億円）

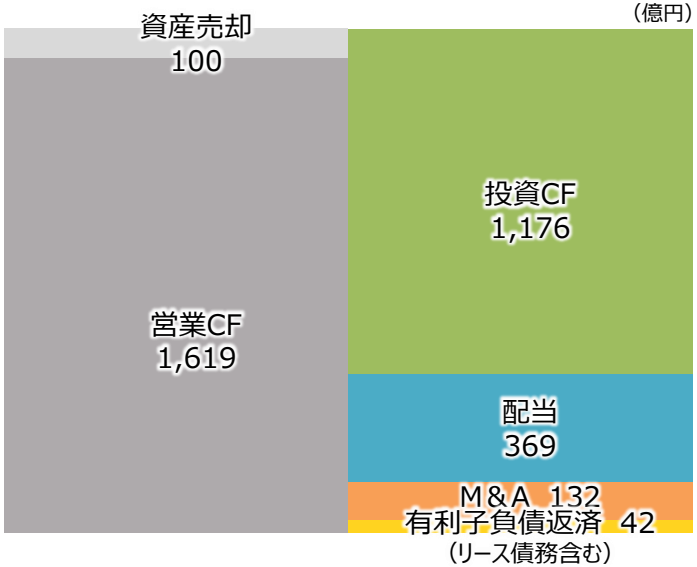
	2024年度	2025年度			
	実績	期初計画	通期見通し（9月25日修正）	対前年同期比	
売上高	2,430	2,520	**2,520**	+90	+3.7%
営業利益	26	80	**80**	+54	+207.7%
経常利益	47	60	**60**	+13	+27.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	28	55	**70**	+42	+150.0%
一株当たり当期純利益（円）	48.60	96.80	**124.69**	+76.09	+156.6%
ROE	2.0%	4.1%	**5.2%**		

キャピタルアロケーションと株主還元方針

- 配当については継続的に安定的な配当を実施し、**累進配当**とする。また、**DOE 6%**を目指す
- 自社株買いを「自社への戦略投資」と位置づけ、積極的かつ機動的に実施する
  （すでに実施した**50億円**に加え、29年度までに合計**200億円以上の自社株買い**を実施）

⇒配当も含め、5年間で560億円以上の株主還元

参考：2020年度～2024年度（累計）



2025年度～2029年度（累計）

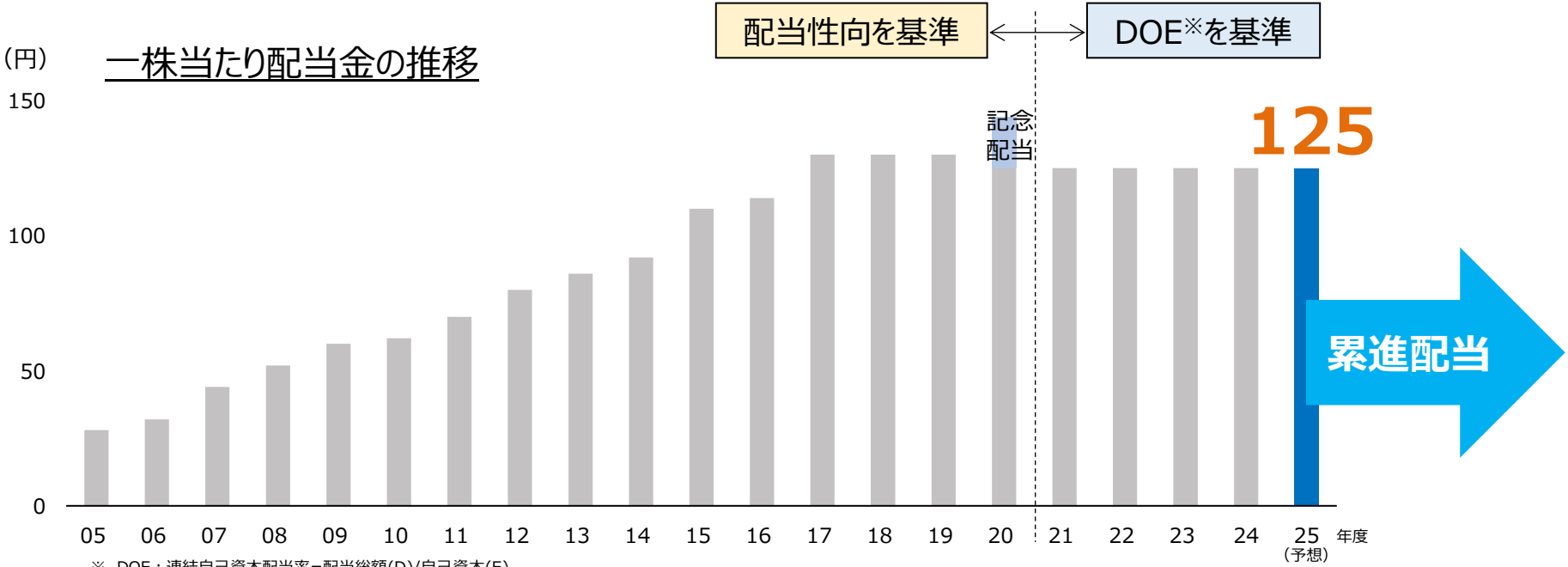
2025年の株価推移

株主還元強化を含む新中計発表などを背景に、プライム市場平均を上回るパフォーマンス（年初比＋42%）

※プライム上場企業の時価総額合計値と連動するHooolders Analytics社独自の指数

配当について

株価：3,651円　　配当利回り：約3.4%



※ DOE：連結自己資本配当率=配当総額(D)/自己資本(E)

個人株主様向け施設見学会

実施概要

対象： 100株以上かつ
3年以上継続保有の株主様
場所： H.U. Bioness Complex
人数： 80名

株主様の感想

御社のことがよく理解できました
応援する気持ちがさらに強くなりました

社員の働きやすい環境が整えられ、
充実していると感じた

外部からの評価（一例）

DX銘柄2025
Digital Transformation

DX銘柄

✓ 2023年から**3年連続**で選定

2025
健康経営銘柄
KENKO Investment for Health

健康経営銘柄

✓ 2024年から**2年連続**で選定

MSCI ESG RATINGS AAA
CCC B BB BBB A AA AAA

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

1. 当社グループの概要

2. 事業セグメントのご紹介

3. Topics

① アルツハイマー病関連検査
② がんゲノム医療への貢献
③ 業績見通し、株主還元、外部評価

4. 本日のまとめ

終わりに

H.U.GROUP

H.U.グループホールディングス株式会社
東証プライム【証券コード:4544】

臨床検査の受託
(特にがんなど特殊検査)

- 蓄積された高い検査技術を背景として**トップシェア**
- H.U. Bioness Complexを中心に今後は更なる**効率化**を推進

検査薬の開発
(アルツハイマー病など)

- 高い技術力、研究開発を継続し**高付加価値な試薬**を開発
- CDMOを通じた**グローバル展開**により成長を加速

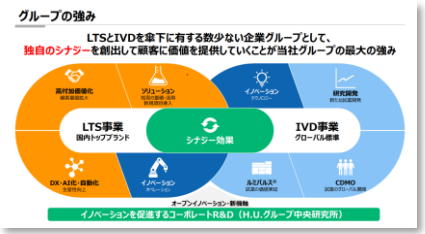
ヘルスケア分野で人々の健康と医療に貢献する企業

当社をよりご理解いただくために

当社ウェブサイトも是非ご覧下さい。

HU 検索

開示資料（中期経営計画、統合報告書等）
https://www.hugp.com/ir/



ブランドサイト
https://www.hugp.com/brand/

H.U.GROUP

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。

※1 FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにH.U.グループホールディングス株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。
※2 H.U.グループホールディングス株式会社によるMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社（"MSCI"）のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによるH.U.グループホールディングス株式会社の後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。